



—市制施行50周年記念—

歌い継がれる「あびこ市民の歌」と「我孫子」の風景

あびこ市民の歌 誕生物語

今から40年前、市制施行10周年を記念して制作が始まりました。「ふるさとあびこのイメージにふさわしく、子どもから高齢者まで、いつでもどこでも口ずさめる歌」にしたいと歌詞を募集。市民の代表でつくられた「あびこ市民の歌詩の部審査会」で審査され「紅いつつじの花の波」で始まる平塚歌子さんの歌詞が選ばれました。歌詞の補作と作曲はシンガーソングライターの小椋佳さんへ依頼。我孫子の四季をうたった「あびこ市民の歌」が完成しました。市民の手でつくられた私たちの歌。我孫子の美しい四季を思い浮かべながら聴いてみてください。



昭和56年当時のレコード

市制施行50周年を記念して、小椋佳さんにより新たにアレンジされた「あびこ市民の歌」が現在レコーディング中です。完成後は、市ホームページからダウンロードできるようになります。詳しくは広報あびこ、市ホームページでお知らせします。

☎ 秘書広報課広報室 ☎7185-1269

小椋 佳さん ~プロフィール~

1944年1月東京、上野に生まれる。1971年初アルバム「青春・砂漠の少年」を発表。3作目のアルバム「彷徨」は100万枚のセールスを突破。以来、ソングライターとして布施明、中村雅俊、堀内孝雄、美空ひばりなど、多数のアーティストへ作品を提供。「シクラメンのかほり」「俺たちの旅」「夢芝居」「愛しき日々」「愛燦燦」など数多くのヒット作品がある。

あびこ市民の歌とめぐる我孫子の魅力

四季折々の美しい風景をうたったあびこ市民の歌とともに、秋晴れのもと散歩をしてみたいはいかがでしょうか。

昭和56年1月15日制定「あびこ市民の歌」  
 作詞/平塚歌子 補作詞/小椋 佳  
 作曲/小椋 佳

紅いつつじの花の波 あびこの丘の春名残  
 樺並木を行く君を 淡い光の光の夢が追う



我孫子のいろいろ八景  
 ~桜八景~手賀沼遊歩道

水の館近くでは桜のトンネルが楽しみ、夜はライトアップも。桜の後にはつつじが咲き誇り、まさに「つつじの花の波」のようです。

我孫子のいろいろ八景~坂道八景~けやき通りの坂

湖北台団地の坂道の両側にあるケヤキ並木。特に春の芽吹きと秋の紅葉が圧巻です。

夕陽まばゆい利根川に 揺れるすすきの秋穂波  
 風も流れも草笛も 君に届けと届けと愛の歌

我孫子のいろいろ八景~水八景~古利根沼

明治から大正にかけて行われた利根川の流路変更でできた三日月形の沼。昔の利根川の面影を残す貴重な自然遺産です。特に夕暮れ時は沼の静けさが際立ちます。



朝のひかりに雲遠く 北は筑波の冬化粧  
 渡るつぐみの鳴く声も 君を思えば思えば春便り

我孫子のいろいろ八景~斜面林・田園八景~北新田

広大な田園は、かつてその一部が「柴崎沼」と呼ばれた湿地帯でした。野鳥が多く鳥の楽園。遠くには筑波山が望めます。

春の訪れを歌うツグミ

市内を散策しているとツグミに出会いました。冬の寒さを乗り越え、もうそこまで春が。今年も新たな我孫子の四季が始まります。



水面をコサギが舞い遊び 手賀沼はねる夏しぶき  
 白い翼の背に乗って 熱い思いが思いが空を飛ぶ

手賀沼を舞うコサギ

手賀沼は四季折々のバードウォッチングが楽しめます。散策、ウォーキング、ジョギング、サイクリングなど思い思いに楽しめます。



ここにも…「あびこ市民の歌」

市制施行50周年を記念し、我孫子駅5番線(常磐線快速上り)の発車メロディーに「あびこ市民の歌」が使われています。ぜひお聴きください。